

地域別懇談会 プログラム

第1回 地域別懇談会 9月11日(日) 19時～

- 1 地域の現況の説明
(1) 位置と地勢
(2) 人口と世帯ほか
- 2 地域活動の整理
地域で行われている活動を整理する
- 3 地域の課題
地域の課題を出す
※ 地域概要書の「3 市民意識調査」のデータを参考にする

4 課題に対する今後の取組方向（解決方策）

課題を解決するための具体的な方策を検討する

第2回 地域別懇談会 9月25日(日) 19時～

- 5 資源の発掘
自慢できる資源、次の世代に引き継いでいきたいモノ・コトを考える
- 6 資源の活用方法
資源を活かした取組や、今はないが今後つくっていききたいことなどを考える
- 7 将来ありたい地域の姿
2～6の内容を踏まえて、「地域のありたい姿」を考える

第3回 地域別懇談会 10月16日(日) 19時～

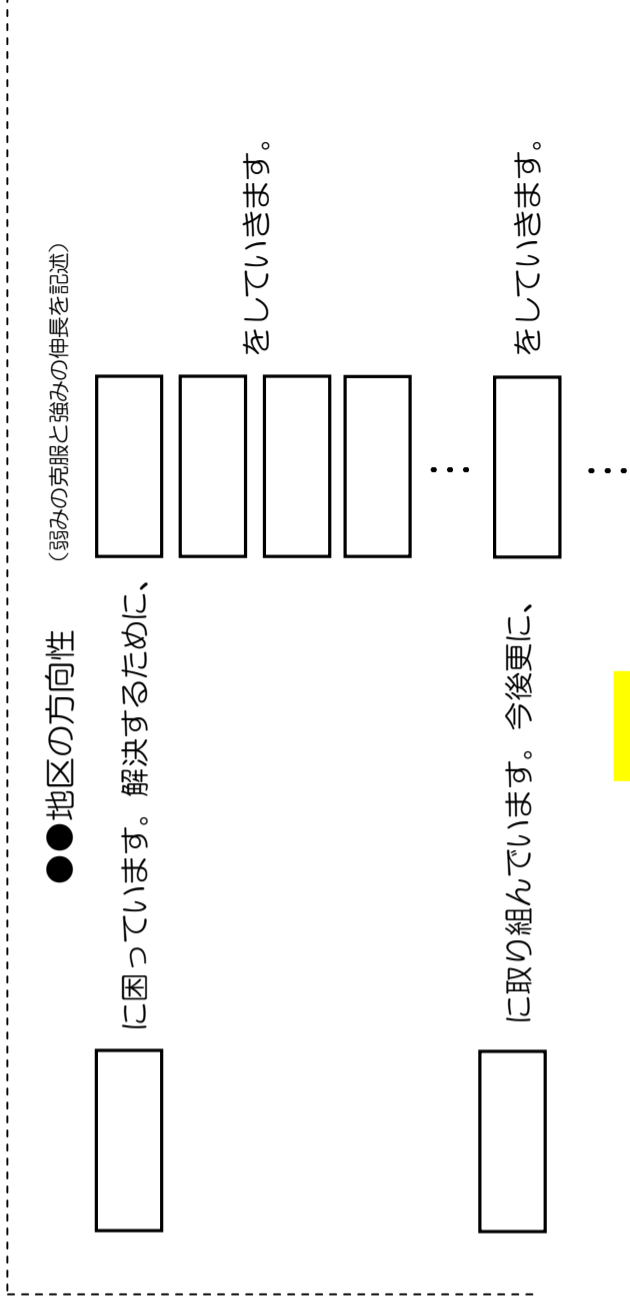
- 8 具体的な取組みの掘り下げ
7で考えた「地域のありたい姿」を実現するために、どんなことをしていきたいかを考える
- 9 地域のキャッチフレーズ
各班でまとめた「地域のありたい姿」（複数）をもとに、班ごとに「地域のキャッチフレーズ」をまとめる

以下、次年度以降

- 第3回懇談会でまとめた「地域のキャッチフレーズ」（3班分）を1つのキャッチフレーズへ集約する。
- 地域へ地域別構想案を示し、内容について地域と合意形成を図る。

《地域別構想のイメージ（骨子案）》

- ① 地域のキャッチフレーズ
(例) 伝統が息づき、交流と活力のある●●地区
- ② 地域の現況
(1) 位置と地勢
(2) 人口と世帯
- ③ 地域力
地域の活動や地域の資源など
- ④ 地域の困ったこと（課題）と地域ができること（解決方策）
【イメージ】



⑤ 地域のありたい姿

将来ありたい
地域の姿

～なまち

～なまち

～なまち

～なまち

懇談会のルール

- ① 人の話を聞くときは ふむふむと
- ② ナンバーワンより オンリーワン
- ③ 紙に書くときは ペンを使って大きな文字で

地域概要書：けやき坂小地域

1 地域の基本的な状況

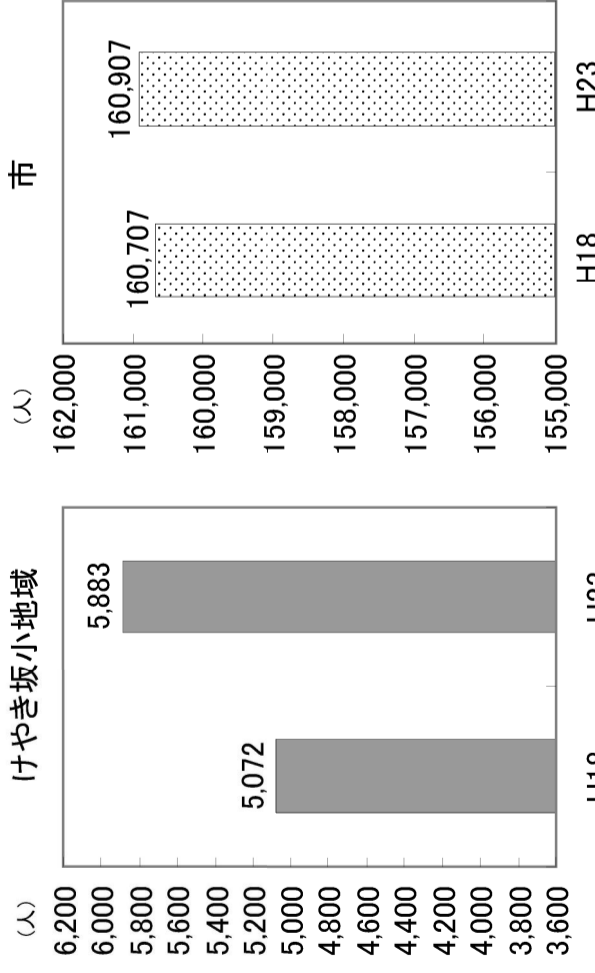
位置

市の西部に位置しています。



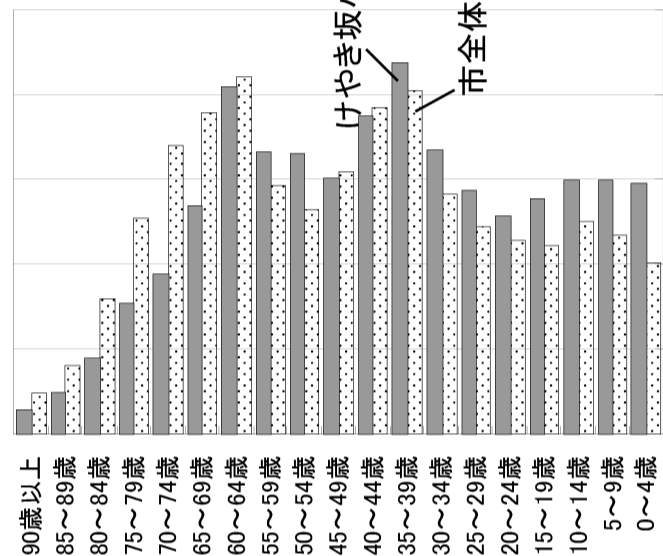
人口の変化

5年間で、16%増加しました。一方で市全体では、0.1%増加しています。



年齢別人口構成

人口を年齢別にみると、35～39歳が最も多く、続いて60～64歳が多くなっています。

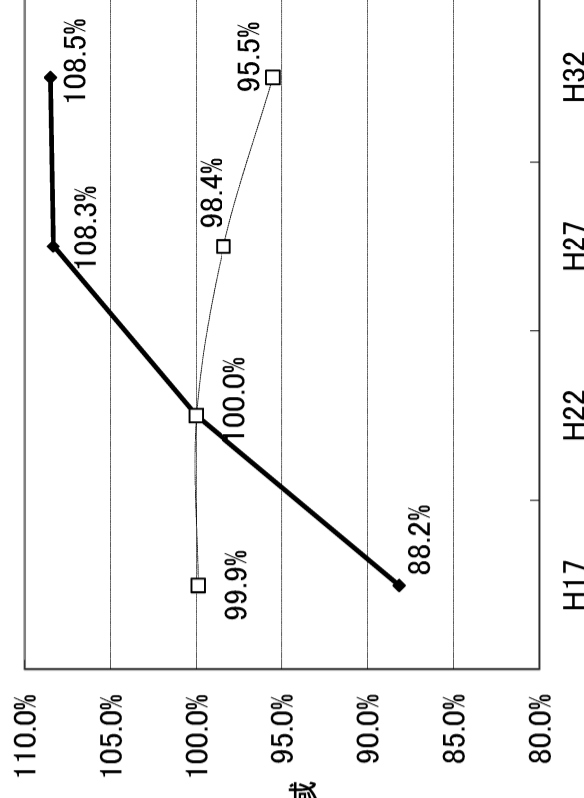


(住民基本台帳)

※人口全体を分母とする割合で表示 (H23住民基本台帳)

地域の将来人口推計

地域の将来人口は、10年後には500人程度(8.5%)増加する可能性があります(推計)。

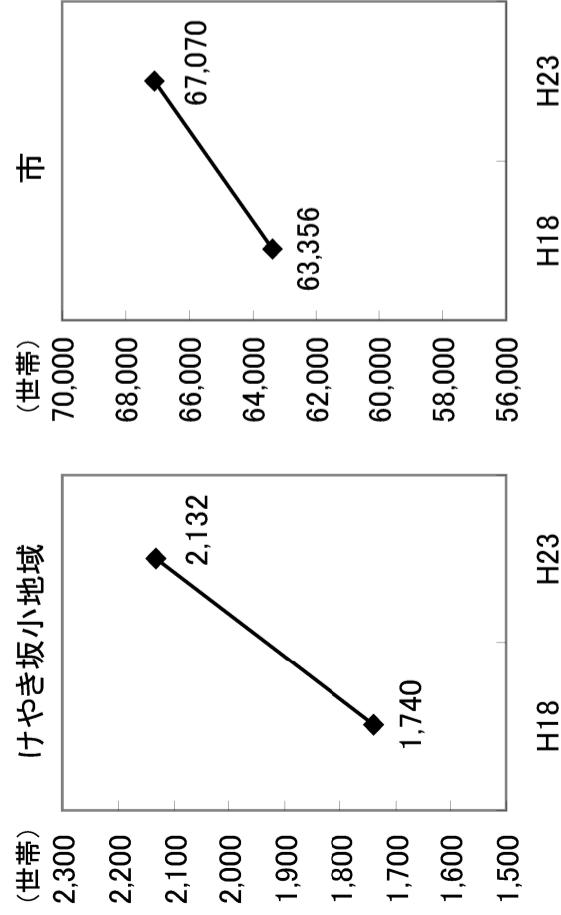


けやき坂小地域

市

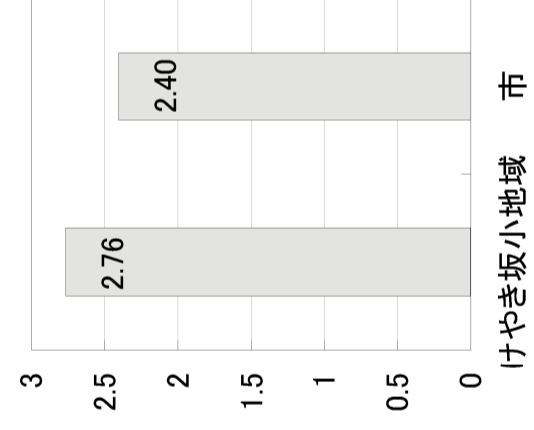
世帯数の変化

世帯数は、5年間で22.5%増加しています。市全体では約6%増加しました。



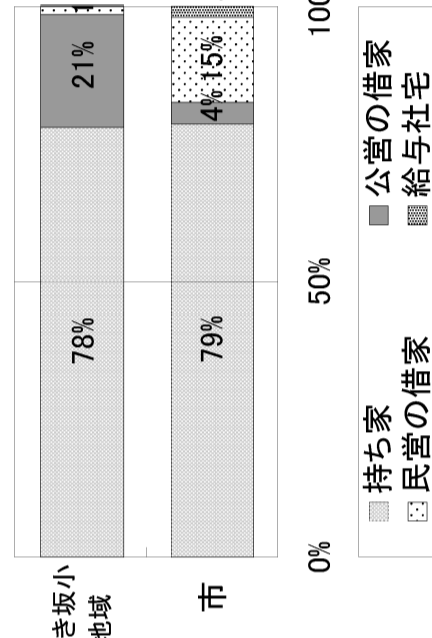
平均世帯人員

世帯あたりの人口は、2.76人となっています。



住宅の所有

市平均よりも、公営の借家等の割合が大きくなっています。



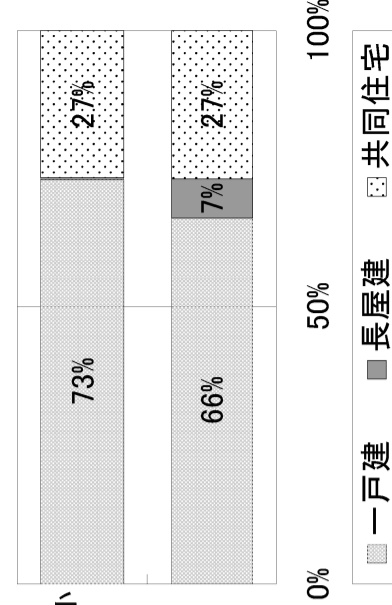
(住民基本台帳)

(H23住民基本台帳)

(H17国勢調査)

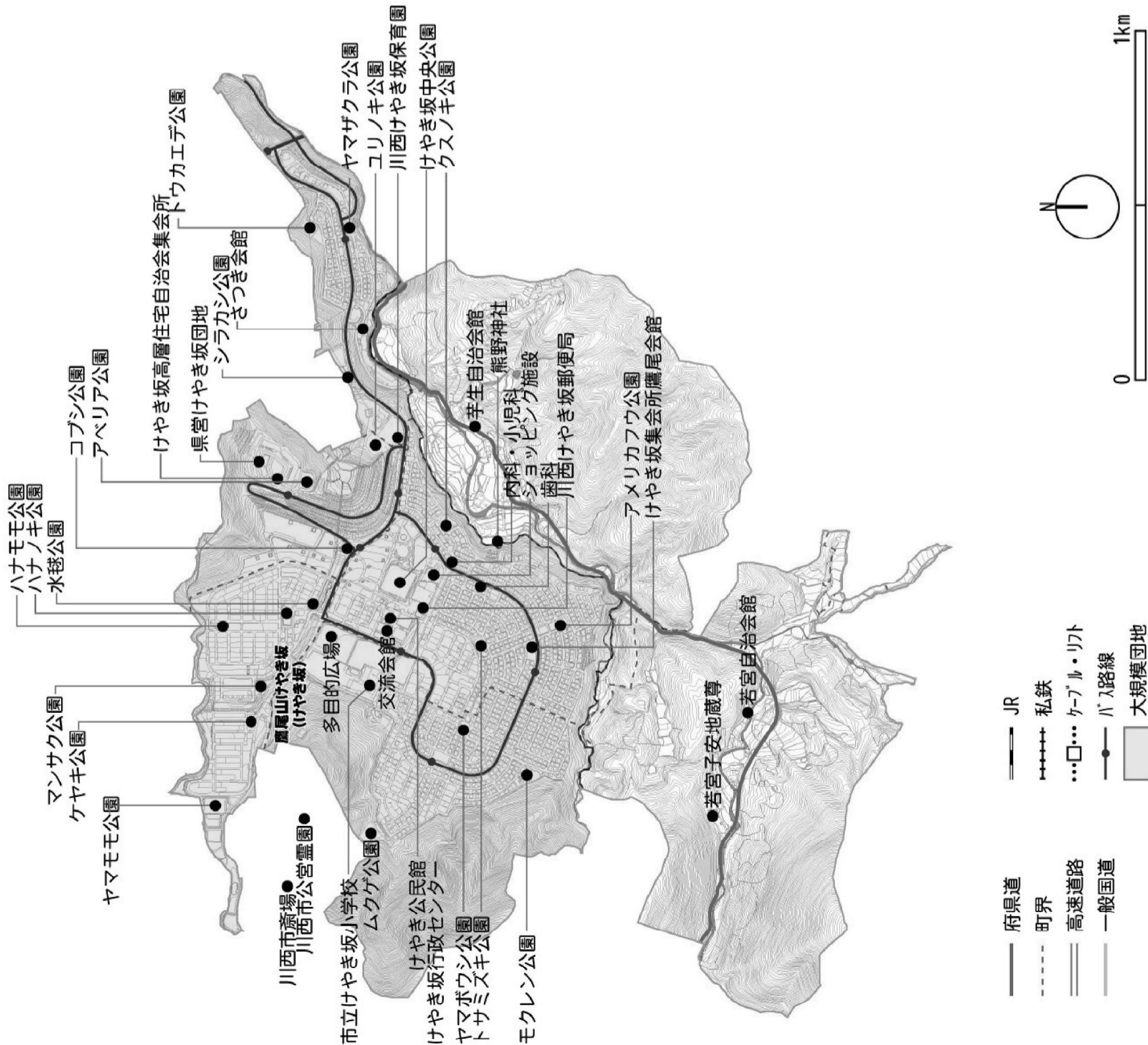
住宅の建て方

一戸建が7割程度を占めています。



(H17国勢調査)

地域の主な資源



- ・国道12号が地域の東側を走っています。
- ・けやき坂地区は、昭和51年から、約131ha、2,100世帯の規模で開発されました。
- ・けやき坂小学校などの教育施設があります。
- ・けやき坂公民館などの集会所があります。
- ・公園が19か所あります。
- ・地域の南部に若宮子安地蔵尊があります。

- ・納涼祭や体育祭などの行事が実施されています。
- ・配食サービスや高齢者等ふれあい事業など、高齢者のための取り組みや、子育てサロンなどの子育て支援の取り組みが行われています。

主な地域活動

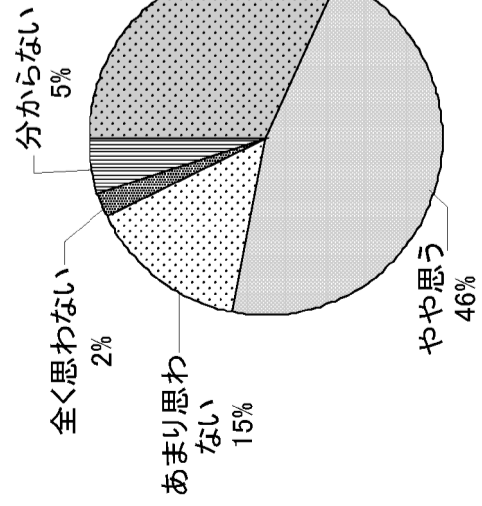
月	活動名	場所
7	学校プール開放	
7,8	夏季防犯パトロール	
8	納涼祭	
10	おもろ能 体育祭	
11	文化祭 青少年野外活動	
1	どんど焼き	
2	地域総合防災訓練	
年4回	コミュニティニュースの発行	
通年	配食サービス 高齢者等ふれあい事業 子育てサロン スポーツ大会 放課後子ども教室事業 人権啓発活動 県民交流広場事業	

地域愛着

「愛着を持っていると思う」「やや愛着を持っていると思う」と答えた地域住民は、78%となっています。
 地域に住む中学生は、川西市が「好き」「まあまあ好き」の回答は、75%となりました。

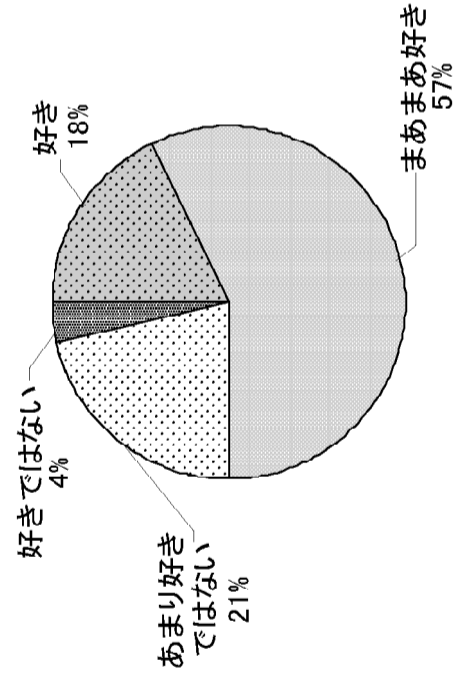
地域住民(N=43)

自分の住んでいる地域に愛着を持っていると思いますか。



地域の中学生(N=28)

あなたは、川西市が好きですか。

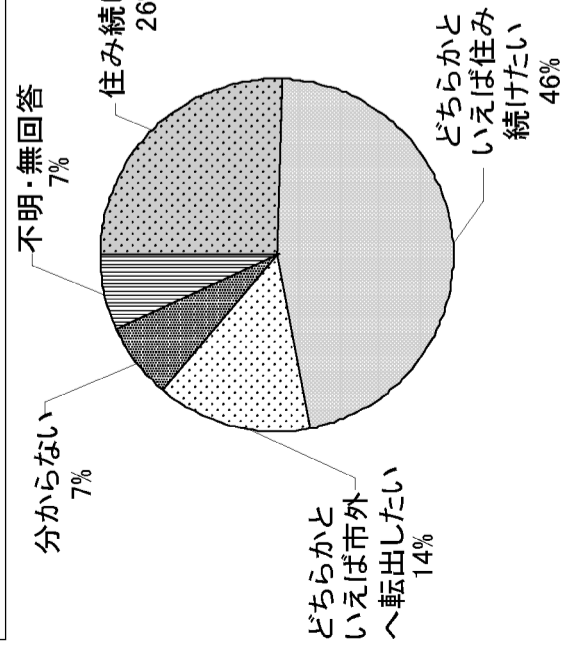


定住意向

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、72%となっています。
 一方で、中学生では、29%となりました。

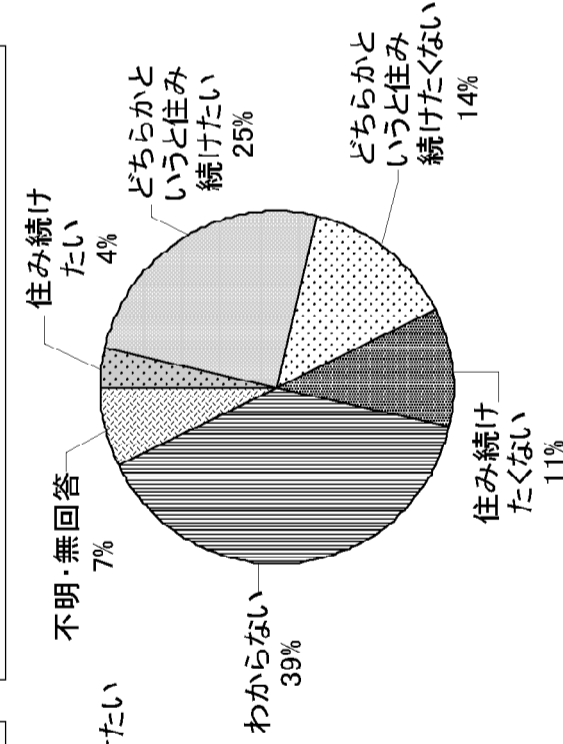
地域住民(N=43)

これからも川西市に住み続けたいと思いますか。



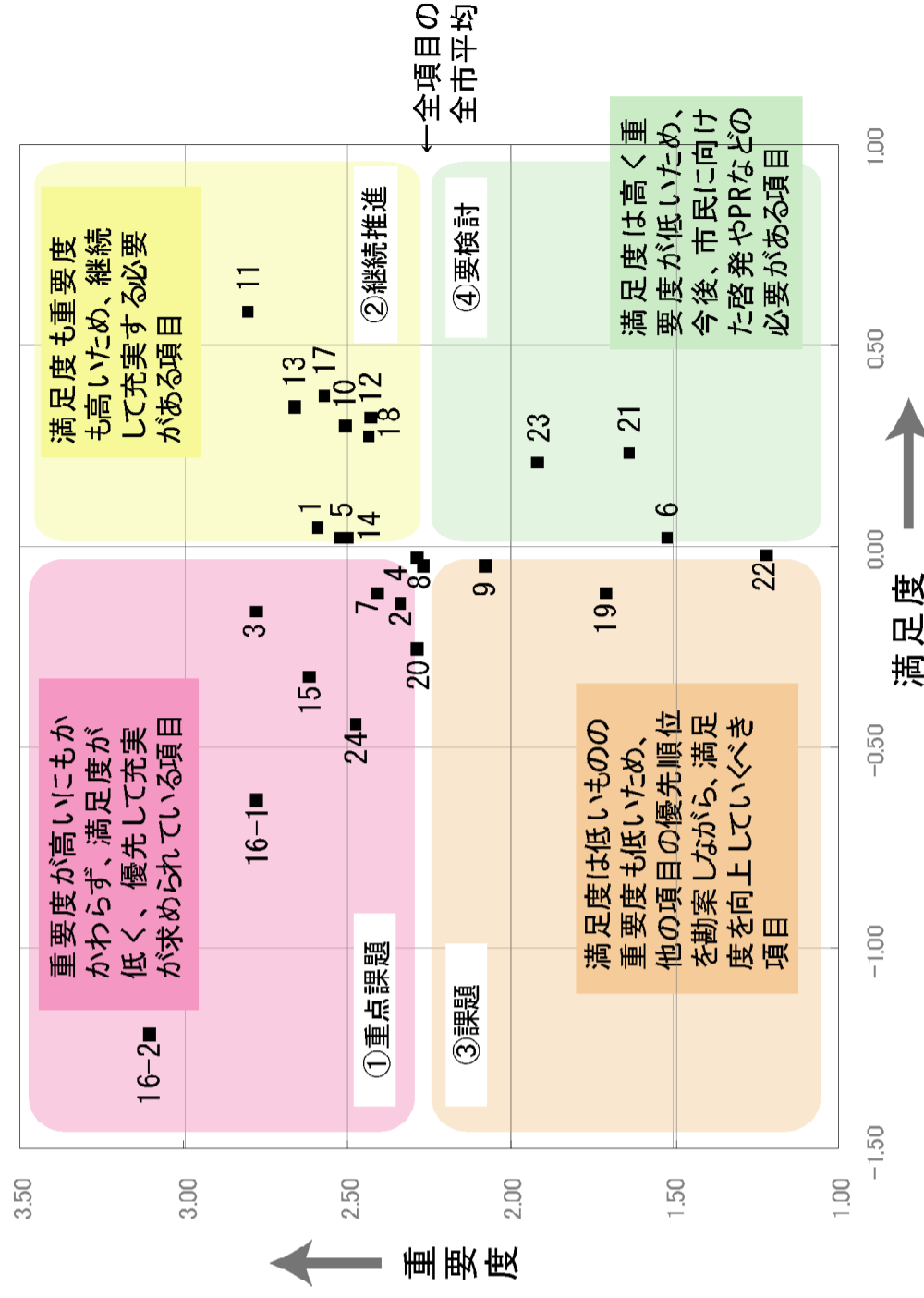
地域の中学生(N=28)

大人になっても川西市に住み続けたいですか。



暮らしの中の課題と重要度

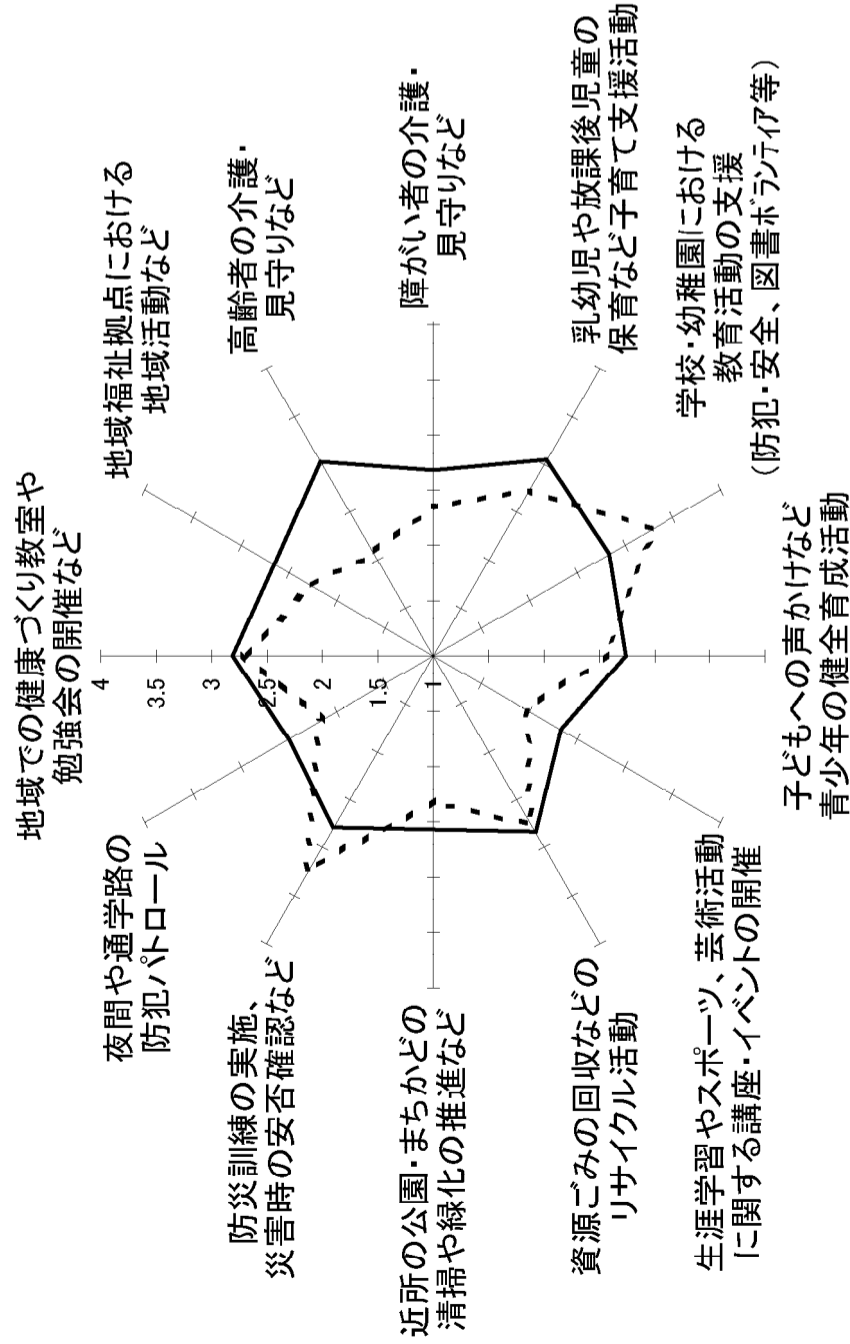
重要な課題として、「公共交通の利便性向上」「高齢者の支援」「交通施設の整備」が挙げられています。



①重点課題	2.地域福祉の推進 3.高齢者の支援 4.障がい者の支援 7.学校教育環境の整備 8.青少年の育成 15.市街地整備 16-1.交通施設の整備 16-2.公共交通の利便性向上 20.労働環境の向上 24.効率的な行財政の運営	②継続推進	1.健康づくりの支援 5.子育て支援 10.環境の保全 11.省資源・リサイクル 12.公園・みどりの整備 13.上水道の安定供給 14.都市計画の推進 17.防災力の向上 18.生活安全の推進
③課題	19.産業の振興 22.共感・共生のまちづくり	④要検討	6.低所得者福祉 21.観光の振興 23.参画と協働のまちづくりの推進

取組みの重要度と、市民の意欲

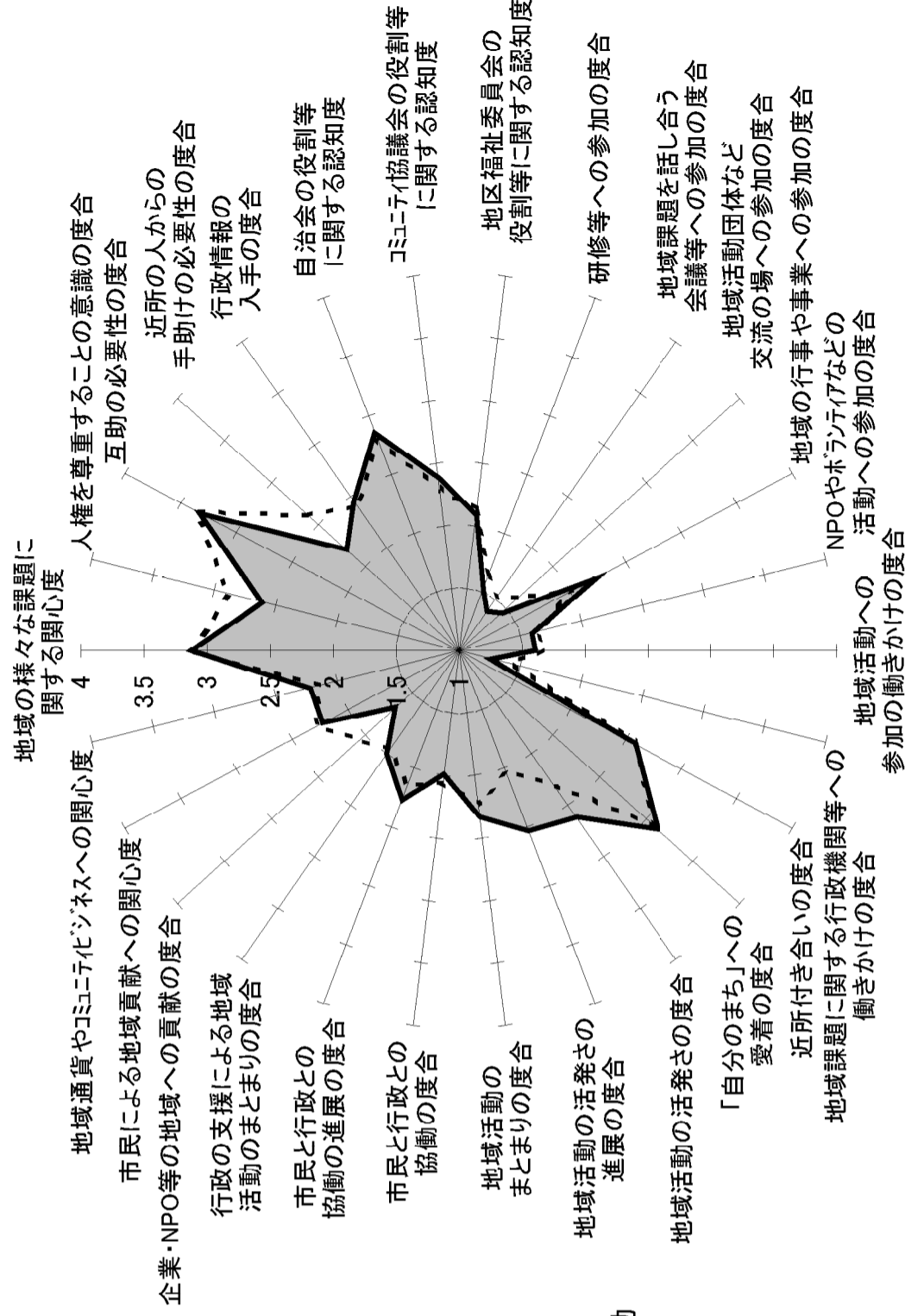
重要度が特に高いのは、「乳幼児や放課後児童の保育など子育て支援活動」「高齢者の介護・見守り」「資源ごみの回収などのリサイクル活動」「地域での健康づくり教室や勉強会の開催など」です。「学校・幼稚園における教育活動の地域で担うべきと考えられているのは、「資源ごみの回収などの支援」「防災訓練の実施、災害時の安否確認など」「リサイクル活動」「地域での健康づくり教室や勉強会の開催など」となっています。



□ 取組みの重要度 (大きい方が重要度が高い)
 ■ 地域が担うべき取組み (大きい方が「市民が担うべき」)
 ※値は「わからない」および無回答を除く、小学校区別の平均値

地域之力

特に数値が高いのは、「互助の必要性の度合い」「自分のまちへの愛着の度合い」「地域の様々な課題に関する関心度」です。



□ 地域
 ■ 市
 ※値は「わからない」および無回答を除く、小学校区別の平均値